

会 議 録

| | | |
|-------------|---|-------|
| 会 議 の 名 称 | 令和6年度第5回所沢市上下水道事業運営審議会 | |
| 開 催 日 時 | 令和6年11月21日(木) 午前10時00分から11時40分まで | |
| 開 催 場 所 | 上下水道局庁舎3階 大会議室 | |
| 出 席 者 の 氏 名 | 越阪部 眞、小澤 峰子、金子 修三、北野 大、小西 綾子、 瀬能 幸則、西村 めぐみ(50音順) | |
| 欠 席 者 の 氏 名 | 永井 儀男 | |
| 議 題 | (1) 所沢市水道事業経営計画の改定について (2) 第2次所沢市下水道事業経営計画の策定及び下水道使用料のあり方について (3) 令和5年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について(水道事業) (4) 第2次市街化調整区域下水道事業整備事業受益者負担金額の設定について (5) その他 | |
| 会 議 資 料 | 令和6年度 第5回所沢市上下水道事業運営審議会次第 令和6年度 第5回所沢市上下水道事業運営審議会席次表 令和6年度 第5回所沢市上下水道事業運営審議会質問・意見書 資料1 所沢市水道事業経営計画の改定について 資料2 所沢市水道事業経営計画(素案) 資料3 第2次所沢市下水道事業経営計画の策定及び下水道使用料のあり方について 資料4 第2次所沢市下水道事業経営計画(素案) 資料5 令和5年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について(水道事業) 資料6 第2次市街化調整区域下水道事業受益者負担金の設定について(答申案) | |
| 担 当 部 課 名 | 上下水道事業管理者 | 鈴木 哲也 |
| | 上下水道局長 | 仲 正之 |
| | 上下水道局次長 | 根岸 清 |
| | 上下水道局下水道維持担当参事 | 加藤 孝雄 |
| | 上下水道局総務課長 | 中澤 宏和 |
| | 上下水道局経営課長 | 草薨 秀夫 |
| | 上下水道局窓口サービス課長 | 粕谷 明彦 |
| | 上下水道局水道建設課長 | 古澤 祐晴 |
| | 上下水道局給水管理課長 | 坂野 浩明 |
| | 上下水道局下水道整備課長 | 村上 和雄 |
| | 上下水道局総務課副主幹 | 野島 博行 |
| | 上下水道局下水道維持課主査 | 鹿島 義則 |
| | 上下水道局下水道維持課主査 | 瀧澤 誠 |

(事務局)

上下水道局経営課主査

向井 達哉

上下水道局経営課主査

越阪部 那佳子

上下水道局経営課主任

水原 史貴

上下水道局経営課主事

久保 未来音

電話 04(2921)1087

様式第2号

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-------|---|
| | <p>1. 開会（事務局により進行）</p> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ（会長） ・会議資料の確認 ・出席状況の確認・会議の成立の報告 <p>3. 議事の手続き（会長により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴希望者の確認（希望者0名） <p>4. 議事（会長により進行）</p> |
| 会長 | <p>議事（1）について説明していただきたい。</p> |
| 経営課主査 | <p>議事に入る前に、前回の審議会後に審議内容に関わる質問があったので回答する。質問内容としては、「第4回審議会資料1のP11で、水道事業の経営計画期間の経営目標の推移についてご説明いただきましたが、計画が終了する令和12年度には、純利益や経常収支比率が目標達成ギリギリとなっていることが分かります。計画終了後の令和12年度以降の経営状況はどのように推移していきますでしょうか？</p> <p>また、第4回審議会資料3のP10にある下水道事業についても同様に、令和16年度以降の推移についてご回答ください。」とあった。</p> <p>水道事業の場合、水需要の減少傾向及び維持管理費や施設の更新需要等の増加傾向は、今後も継続する見込みのため、令和13年度以降は再び収支の均衡を保つことが困難な状況となることが予測される。</p> <p>そのため、毎年実施する経営状況や事業進捗状況の評価・検証を、事業経営に反映させることで、健全な経営を保つとともに、水道料金のあり方についても、経営困難に陥る前のタイミングで検討する必要がある。</p> <p>一方、下水道事業の場合、水道事業と同様に、水需要の減少傾向や施設の更新需要等の増加はあるものの、減価償却費が減少していく傾向にあり、収支がやや回復していく傾向である。</p> <p>施設の更新についても水道事業とは考え方が異なり、耐用年数が経過した管路を全て更新するわけではなく、耐用年数が経過しても、修繕が必要な箇所を把握しながら更新を進めていく。</p> <p>また、浄水場等の大規模な施設も保有していないため、水道事業ほどの建設改良費がかからないことも、今後の経営状況の見通しの中で予測されている。</p> |
| 委員 | <p>前回の審議会後に、6年後・10年後といった将来的な傾向が気になっ</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>たため、質問させていただいた。今後、水道の受水費や下水道の維持管理負担金単価が改定される可能性がまたあると思うので、計画期間終了前に予測できない事項が起きた際には、計画の見直し時期の前倒しなどを検討していただき、必要であれば、料金及び使用料の改定の議論をするべきだと思う。</p> |
| 経営課主査 | <p>※資料１・２に基づき、所沢市水道事業経営計画の改定について説明。</p> <p>(１) 所沢市水道事業経営計画改定版(素案)の審議</p> <p>(２) 改定後の水道料金体系</p> <p>(以下、質疑応答)</p> |
| 委員 | <p>１３ページが重要で、各口径での平均改定率が約２５％から大きく乖離がないように少量使用者への激変緩和措置があり、公平感のある改定だと思う。１００mmや１５０mm口径の大口使用者の改定率が低くなっているのは、過去から大口使用者に依存している状況を見直した良い体系だと思う。</p> |
| 委員 | <p>改定率だけを見ると口径によって差があり、改定率の低い大口使用者を優遇しているようなイメージだが、これまで大口使用者にご負担いただいていたということから、負担の公平性を勘案して改定率が下がっているということだと思う。</p> |
| 委員 | <p>１３ページの増加額だけを見ると、１００mmや１５０mm口径の増加額が高くなっている印象を受けるので、利用者に対し、どうしてこのような体系となったかの説明を丁寧にさせていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>パブリックコメントには料金改定の考え方のみを示すのか。</p> |
| 経営課長 | <p>料金改定の内容については現在、審議していることもあり、具体的なものは示さず、改定の実施時期などの考え方をパブリックコメントに記載する予定である。</p> |
| 委員 | <p>一般家庭で１か月に６００円ほど上がると捉えて良いのか。</p> |
| 経営課長 | <p>その通りである。</p> |
| 委員 | <p>設置される水道管の口径の大きさはだれが決めているのか。</p> |
| 経営課長 | <p>使用者の用途や使用水量に応じて口径を決めている。</p> |
| 会長 | <p>続いて、議題(２)について説明していただきたい。</p> |

| | |
|-------|---|
| 経営課主査 | <p>※資料3・4に基づき、第2次所沢市下水道事業経営計画の策定及び下水道使用料のあり方について説明。</p> <p>(1) 第2次下水道事業経営計画(素案)の審議</p> <p>(2) 使用料体系・水準の検討</p> <p>(以下、質疑応答)</p> |
| 委員 | <p>値上げに至る考え方などを細かく丁寧に市民へ説明して欲しい。</p> |
| 委員 | <p>県による受水費単価と処理単価の値上げといった、外的要因をもって値上げすることを答申書で説明した方が良いと思う。</p> |
| 委員 | <p>パブリックコメントには使用料改定の考え方のみを示すのか。</p> |
| 経営課長 | <p>料金改定の内容については、具体的なものは示さず、改定の実施時期などの考え方を示す予定である。</p> |
| 委員 | <p>10ページが重要だと思う。大口使用者である事業者は右肩下がりに減少しており、全国では年間5万件ほど休廃業等で減っている。倒産件数もこれまでは7・8千件ほどであったが、今年度はコロナ禍の影響もあつてか、1万件ほどに増えると言われている。そのため、事業者に依存する体系ではなく、一般世帯から徴収する体系にシフトすることは財政的に安定すると思う。</p> |
| 会長 | <p>続いて、議事(3)について説明していただきたい。</p> |
| 経営課主査 | <p>※資料5に基づき、令和5年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について(水道事業)説明。</p> <p>(1) 水道事業の進捗状況</p> <p>1-① 出前教室実施事業</p> <p>1-② 口座振替促進事業・クレジットカード決済導入事業</p> <p>1-③ 水道管整備事業</p> <p>1-④ 浄水場整備事業(耐震補強工事)</p> <p>(2) 水道事業の経営状況</p> <p>2-① 経営の健全化</p> <p>2-② 老朽化の状況</p> <p>2-③ 全体総括</p> <p>(以下、質疑応答)</p> |
| 委員 | <p>3ページの出前講座について、節水を促すような内容を実施しているの</p> |

| | |
|----------|---|
| 総務課副主幹 | か。 節水に対する意識付けをするような説明を授業で行っている。 |
| 委員 | 出前講座により日常生活の行動変容について検証し、評価することが大事だと考える。 |
| 会長 | 続いて、議事（４）について説明していただきたい。 |
| 下水道維持課主査 | ※資料６に基づき、第２次市街化調整区域下水道事業受益者負担金の設定について（答申案）説明。 （以下、質疑応答） |
| 委員 | ２ページについて、「様々な意見を集約して」は「これまでの経緯や考え方を考慮して」という表現にしてはいかがか？あくまでも、事務局側から示された従来の考え方等を検討して単価を決定したので、これまでの会議で委員から単価設定に関する新たな意見は提示されていないと思う。 ３ページについて、「受益者の負担の公平性」はこれまでの単価と比較した時系列的な公平性ではないのか。「これまでの受益者との負担の公平性」という表現にしてはいかがか？ 次回会議で最終的な確認をすれば良いのか？ |
| 経営課長 | その通りである。 |
| 会長 | 続いて、議事（５）について説明していただきたい。 |
| 経営課長 | 次回の第６回審議会の開催は１月３１日（金）を予定している。 答申書の受け渡しは、当初２月に開催予定の審議会で行う予定だったが、２月の審議会の開催が無くなったため、１月３１日の審議会で答申案の取りまとめを行わせていただき、受け渡しは会長と事務局で別日に行わせていただく。委員の皆様には、答申書の写しを後日送付させていただきます。 |
| 会長 | 本日予定した議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。 ５．閉会（事務局により進行） |
| 副会長 | 閉会挨拶 |